

The First Church of Christ, Scientist

2021年1月

母教会会員のみなさま、

フランスのパリからみなさまへ手紙を書き、世界各地にある教会の会員一人一人をこのように近く感じることは何という光栄であり恵みでしょう。私たちの指導者、メリー・ベーカー・エディが語っているように、「神性の存在に覆い包まれているとき、・・・時と空間が、私たちを切り離すことはありません」
(*Miscellaneous Writings 1883-1896*『小品集1883-1896』、p.110)。

さまざまな挑戦に見舞われているこの時期、人類のために霊的に目覚めている私たちは、神性の心のみが唯一の原因・唯一の立法者であり、人と全宇宙を調和をもって永久に支配していることを、今まで以上に一つになって目覚め、理解し続ける必要があります。「患難は忍耐を生み出」すことを覚えておくと励みになります(ローマ5:3)。ガラテヤ人への手紙(6:9)に書いてある通り、「わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはな」りません。「たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようにな」ります。必要なことは、気が遠くなるような世界の問題に没頭して、目を下に向けて物質を見るのではなく、目を上に向けて霊を見、神がすべてであり至高であることを認めることです。私たちが、神性の健康、清らかさ、そして完全性が全ての空間を満たしているという事実を忍耐強く根気強く認めるにつれて、私たちは人が霊的で完全な、神から愛されている子供であり、まったく清らかで自由に守られていることを認めるようになります。

偽りは変わることはない調和を、一時的に隠すように見えますが、偽りが調和を壊すことはできません。真理は常に勝利します。私たちを無限の愛から切り離すことのできるものは何もありません。ですから、私たちは黄金律(マタイ7:12参照)に忠実に従い、当然のこととして、神を愛し、また隣人を自分と同じように愛します。この無私の愛により、私たちはますます神性の癒す力を実証できるようになります。

私たち一人一人の祈り、神性の愛との一人一人の深遠な交わりには癒す力があります。これらはすでに私たちの運動や私たち全体の考えに進歩をもたらし、ますます献身的にキリストによる癒しが行われるようになり、インターネットの礼拝や講演への出席者が増えています。そして、さまざまな豊かな記事やオンライン活動、今まで以上に重要視されている平等と正義の意識、深まっている

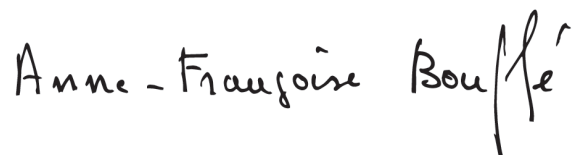
私たちの地球を尊ぶ気持、今までより柔軟性があり革新的な考え方などが、新たな行動様式へと導いています。私たちの癒しの仕事、私たちの教会、そして世界におけるこれらの進歩は続いてゆくことでしょう。それば「・・・進歩は神の法則」だからです」(メリー・ベーカー・エディ著『科学と健康-付聖書の鍵』、p.233)。危険、破壊、低下などという主張を、神は知りません。神の完全な反映である人もそれらを知りません。これらの惑わしには土台も力もありません。ですからこれらは神が既に打ち立てている神性の調和に必然的に道を譲ります。

この手紙はまた、エディ夫人が『規範』に規定した個人別税金について思い出させていただいたためのものです。これは、私たちの心が、私たちの指導者と私たちの教会への感謝の気持ちで満ちていることを示す機会でもあります。母教会は、その広範囲にわたる情報網を通して私たち一人一人に優しい配慮を示し、各自が霊的に進歩するよう励まし、師イエス・キリストによって約束された慰め手を分かち合うことによって全人類に恵みを与えています。人類の幸福にとって、何よりも必要なことは、私たちが私たちの運動のあらゆる癒す活動を愛し支援することです。

また、世界がキリスト教科学を受け入れ、霊の至上性を認める準備ができていることを認めるよう祈ることも、私たちの義務です。私たちは、キリストの光が一人一人を目覚めさせ存在の真理に導くことを知ることにより、そして、「収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すように」(マタイ9:38) 祈りなさいという師イエス・キリストの命令を実行することにより、この義務を果たすことができます。そして、神の恵みという神性の収穫は、今ここで、私たちみなに、そして全人類に与えられていることを知ること何という恵みでしょう!

当教会の役員も私も、みなさまが、霊的存在の真理と癒すキリストの永遠なる存在を明らかにし実証するキリスト教科学を愛し、キリスト教科学に献身的に貢献してくださっていることに深く感謝いたします。

深い感謝と愛をこめて、



Anne-Françoise Bouffé
アン-フランソワーズ・ブッフエ
母教会会長